

# Eco おばちゃん Project 2019

## 「エコ・シューレ(環境学習会)」

### Ladies' Eco Circle プラムロード

▶担当 (事務局) 中村吉江  
▶メール synkmr0905@yahoo.ne.jp

#### 事業目的・背景

1869年に学び舎としてスタートした「梅逕」で、現在の課題「環境」について子ども達と地域住民が共に学習し、さまざまな体験を通じ、次世代に継続できるコミュニティ構築を目的として活動しています。「梅逕畑」で四季を感じ、子ども達とともにエコ活動の実施、その中で伝承できる形態を共に体験、共有し、子どもたちが将来のサポーターとして活動できるように創意工夫に努める。

#### 事業概要

- 1)環境学習会「エコ・シューレEco Schule」:元梅逕中学校の空いたスペースを、エコ学習実習畑「梅逕畑」と称し、旬を知る野菜の栽培と土づくりなどのイベントを実施する。
- 2)エコと防災啓発活動:ロケットストーブ導入を機に、子ども達とともに地域防災も考えながらのエコ活動を進める。梅逕消防分団器具庫にて年末特別警備の際にエコと防災絵画標語展を実施。
- 3)エコ活動の将来のサポーターの育成:さまざまな部門や地域でも大きな課題である「次世代の担い手」を育むために、夏まつりEco Summer Festaなど子ども達と大人との協働作業の機会をつくる。

#### 活動期間

2008年10月、梅逕安心安全ネットワークごみ減量推進会議の女性陣が集まり発足。「エコ・シューレEco Schule」と称し、エコおばちゃん達が子ども達と一緒に学びながら、エ

コ活動を実施するためにスタート。1869年に開かれた歴史ある学び舎「梅逕」で、子ども達とともに現在の課題「エコ」について「梅逕畑」で四季を感じ、様々な協力のもと活動しています。特に、京都学生祭典地域連携部の若い力が大きな力となっています。

#### 成果

「エコおばちゃん」の年齢層を若い世代につながるように、若いお母さん達の参加と意見を大切にしながら、おばあちゃんの知恵袋的なものを伝承できるようシルバー世代との連携、京都学生祭典地域連携部のさまざまな大学からの学生達との協働活動の中で、子ども達のエコ活動への関心と主体性がエコ活動の場面ごとでも見られるようになってきた。また、エコ活動に取り組む他学区との交流や情報交換等も始まり、「エコの輪」の広がりを感じる一年でした。

#### 今後の予定

「エコ・シューレ」やエコに関するイベントが梅逕コミュニティを軸とし、学区にとらわれず、口コミで下京区のちびっ子の参加が少しずつ増えつつあります。環境学習会、環境を考える夏まつりEco Summer Festaも京都学生祭典地域連携部とも協働し、試行錯誤を重ね、10年が過ぎました。今後も、廃校の梅逕中学校を利用した活動を継続し、次の10年に向けて、新たな取り組みを考える知恵と活力を養い、「誰にでもできる運営システム作り」を考えながら、子ども達とともに、手作りのEco Projectを創造していきたい。



2019年6月23日  
梅小路エコシューレ  
たくさんのちびっ子達がじゃが芋掘りに集まりました。秋のサツマイモ掘りに次ぐ人気イベント。  
2月に植えた男爵, キタアカリ, アンデスレッド、インカのみざめ等を収穫、みんなで試食しました。  
じゃが芋のルーツも子ども達と学びました。



2019年9月15日  
梅小路エコシューレ  
・大根の種まき&ねぎの苗植え  
・親子でロケットストーブ製作  
(協力:桃山エコ推進委員会)  
ロケットストーブでマシュマロとお餅を焼いてみました。  
エコつながりで、万一の場合に役立つ知識も学びました。



2020年2月23日の梅小路エコシューレではじゃが芋の種芋植えをしました。子ども達は植える前に草木灰を切り口につける作業も丁寧にできました。  
植え付け後、9月に作製したロケットストーブで、アルファ化米から手作りした五平餅を焼いて食べました。